

みなさん、こんにちは。

7月に入りました。W杯もいよいよ大詰めで、ヨーロッパ各地は盛り上がっているようです。明石市内の中学校総体も野球が一足先に始まりました。これから各種目で熱戦が繰り上げられます。

1. ギャラリートークは大盛況！「よみがえる戦国展 甲冑・武具」から

7月2日(日) 13:30からのギャラリートークには、開始前から熱心な甲冑・武具ファンが大勢つめかけ、特別展示室内は大盛況の様相でした。

まず、日本甲冑武具研究保存会副会長の白綾基之さんが兜や馬具について詳しく解説されました。「鎌倉時代から南北朝時代にかけて兜鉢の形が少しずつ変わりました。革を使った兜は漆が塗ってあり、軽くて丈夫なんですよ」



白綾さん



小林さん

その後、理事の小林 良さんが面頬・鎧・火縄銃・槍や馬印などについて丁寧に解説されました。「面頬も形や素材が様々です。丁寧に作りで製作者の心持を表しているものもあります。また、面には怒りや痛みなどを表現した面もあるんですよ」

参加された方はじっくりと資料を見学したりメモをとったりと興味津々の様子でした。

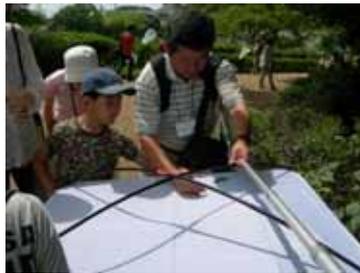
「よみがえる戦国展」は7月16日(日)まで、期間中に日本甲冑武具研究保存会のメンバーの方もときどき来館され、展示資料についての解説もされます。疑問質問などお気軽に声をかけてください。

2. 明石昆虫探検隊 2回目の活動 何と10年ぶりに見つけた昆虫も！

6月24日(土)朝早くから昆虫探検隊2回目の活動が始まりました。この日はいつもの桜掘りコースと第二球場コースのふた手に分かれて昆虫調査を実施しました。



チョウは三角紙に入れて



今年もタタキ網が活躍



ヒラズゲンセイ(オス・メス)

樹液に集まるキョウトアオハナムグリやヒカゲチョウ、黒く光っているキマワリやシラホシホソカミキリなど今回もたくさんの昆虫に出会いました。子どもたちと一緒に歩くお母さんたちも目を見張りながら、小さな生き物たちが見せる自然の世界に驚いていました。

この日一番の出会いには「ヒラズゲンセイ」。探検隊の福島先生によると「クマパチの巣に寄生するツチハンミョウ科の甲虫で、明石公園では10年ぶりに見ました。本当にすごい！」やっぱり明石公園には貴重な昆虫がいろんなところに隠れているようです。駅から近い市街地の公園ですが、まだまだその魅力は計り知れませんね。夏休み中にはユース昆虫研究室2006の途中経過と探検隊の成果も展示する予定です。